

# パークゴルフ仲間で立ち上げた 有償ボランティア

れいわかい

## ○和会ボランティアの活動報告

国頭村社会福祉協議会第2層 知花麻美  
国頭村包括支援センター第1層山田梨枝子



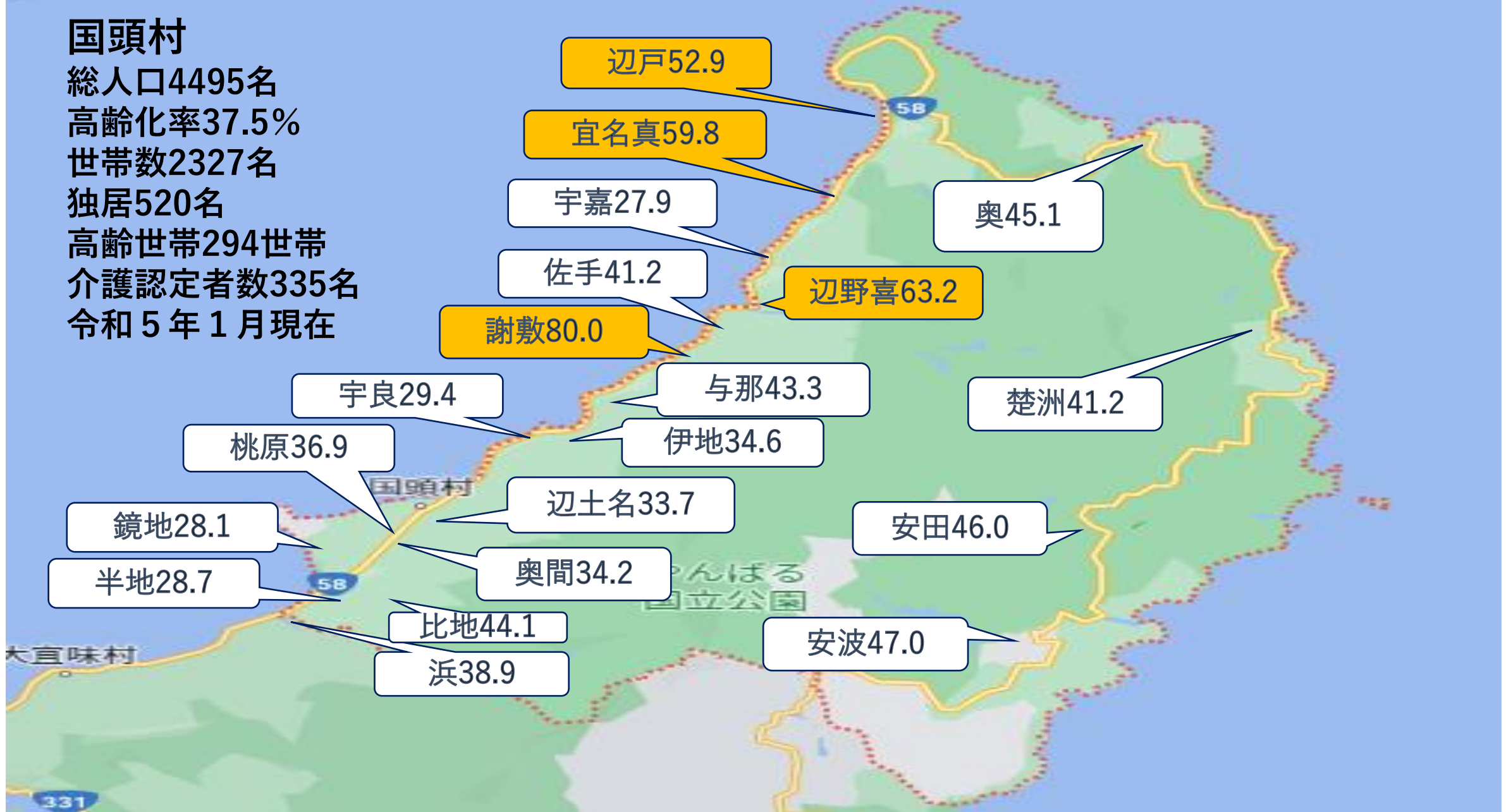
国頭村は沖縄県の最北端に位置し、面積は沖縄県で4番目に大きい。村域の95%が森林原野でヤンバルクイナや、ノグチゲラ、ヤンバルテナゴガネなどの固有種が多く生息している。山地が海岸近くまで迫る地形で各集落は、河川の形成する極狭い平野に20字区が立地する。令和3年7月26日世界遺産に登録されました。





# 国頭村

総人口4495名  
高齢化率37.5%  
世帯数2327名  
独居520名  
高齢世帯294世帯  
介護認定者数335名  
令和5年1月現在



# 1. ボランティアの始まり

はじめは、パークゴルフ仲間、仲間の家を修理したり、自分たちが集まるための小屋作りをしたりしていました。



僕たちの家、きれいになったな～！

もっと何か仲間でやりたいな～！

地域の人できれいにしてもらいたい人がいたら、

僕たちやるんだけどな～。どうやったら、

困っている人が見つかるんだろう？



## 2. 社会福祉協議会との連携

山田さんに  
相談してみよう!!



『地域でボランティア活動がしたい。』と相談があり、社協にボランティア活動があることをお話しした。そして、具体的に仲間でどんな活動ができるのか、社協を交えて話し合いをした。

# 3.話し合いの結果

## ボランティア活動内容

- ①自宅周辺の草刈り作業
- ②家具、道具の廃棄の片づけ
- ③簡単な電気工事、電球の取り換え
- ④草刈り作業や片づけ

(運搬に使用する軽トラの配車、草刈り機等は持参。  
燃料代は依頼人負担にする。)



ボランティアの継続性や安全性を考慮し、有償ボランティアが発案され、ボランティア活動ができる体制（要綱の整備）構築ができた。（村社協には個人でのボランティア登録する仕組みはあったが、団体はなかった。）



# 4.要綱に掲げたこと

①

高齢者の一人暮らし、  
地域の支援が乏しい人

②

高齢世帯で道具が多く、  
室内の整理整頓が  
できない人

③

敷地が広く草刈り作業が  
困難な高齢者

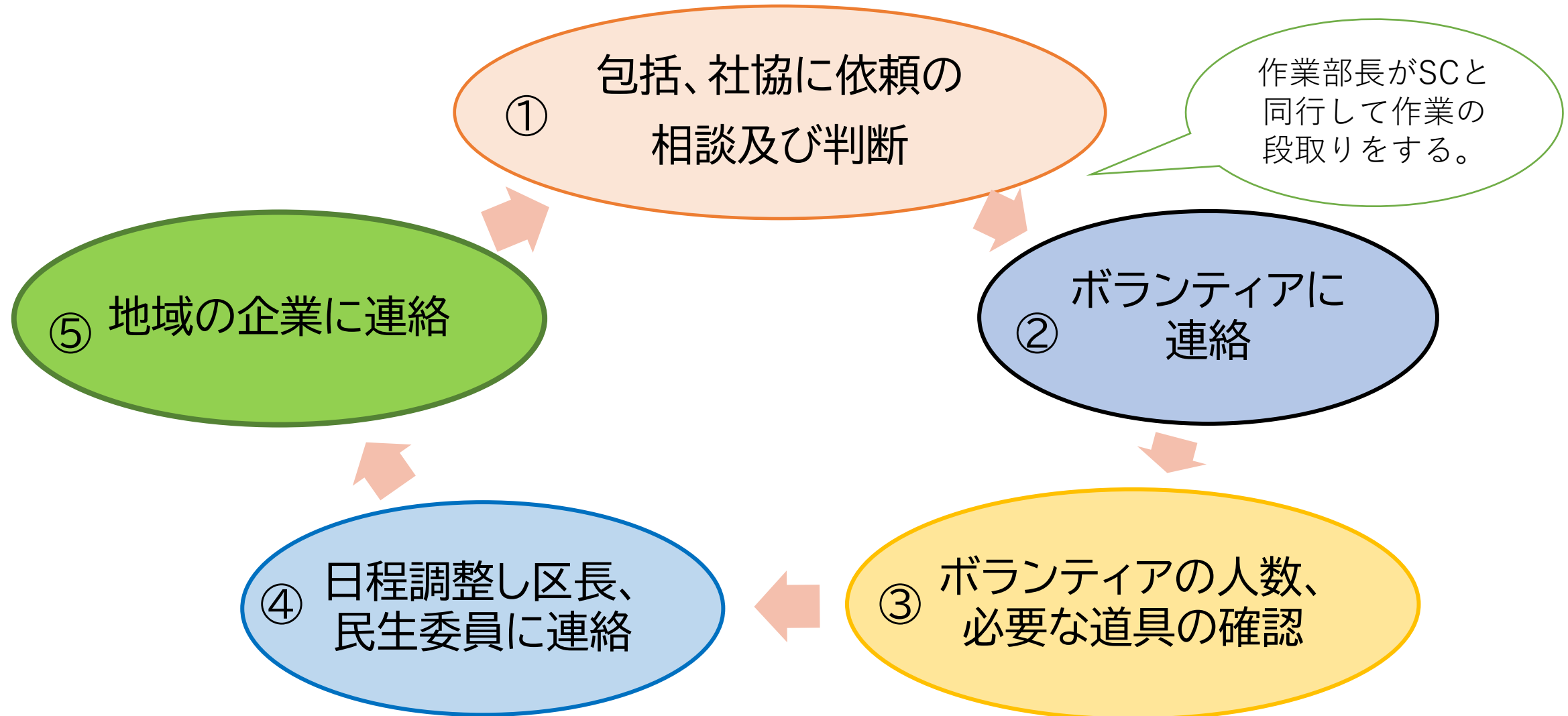
作業依頼があったら、包括・社協・  
字区長・民生委員で会議を開き、  
決定・却下の判断を行う。

④

疾患で片づけができず、  
ものが増えてゴミ屋敷に  
なっている人

守秘義務を守る

# 5.作業開始までの流れ





# 6.作業開始





# A氏宅の雨漏り修理 85歳の男性一人暮らし





雨漏りがあり屋根が  
落ちそうで電気もぶ  
ら下がり



こんなにきれい  
になり朝起きて  
のコーヒータイ  
ムが楽しみ





85歳の一人暮らしの女性

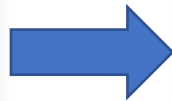
新しい  
むしろ





# 団地に77歳の男性一人暮らし

Before



After

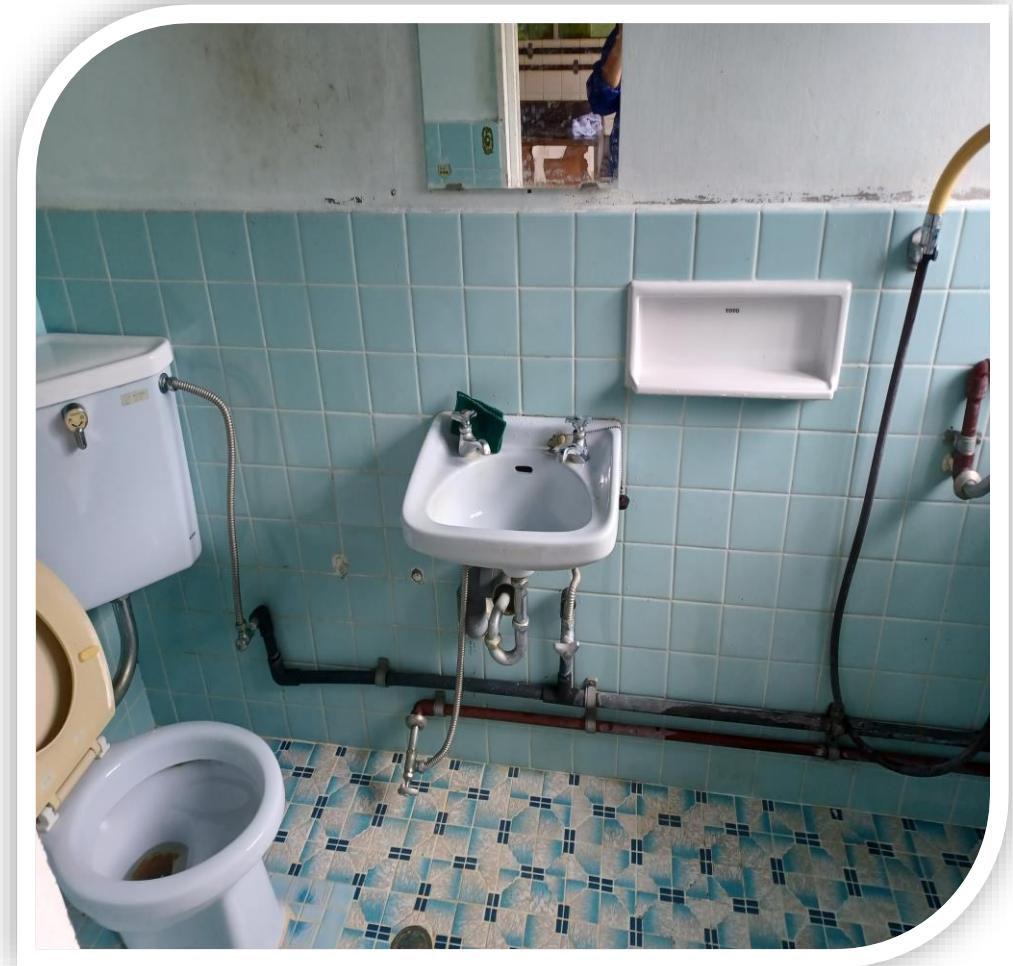


# 77歳宅

Before



After



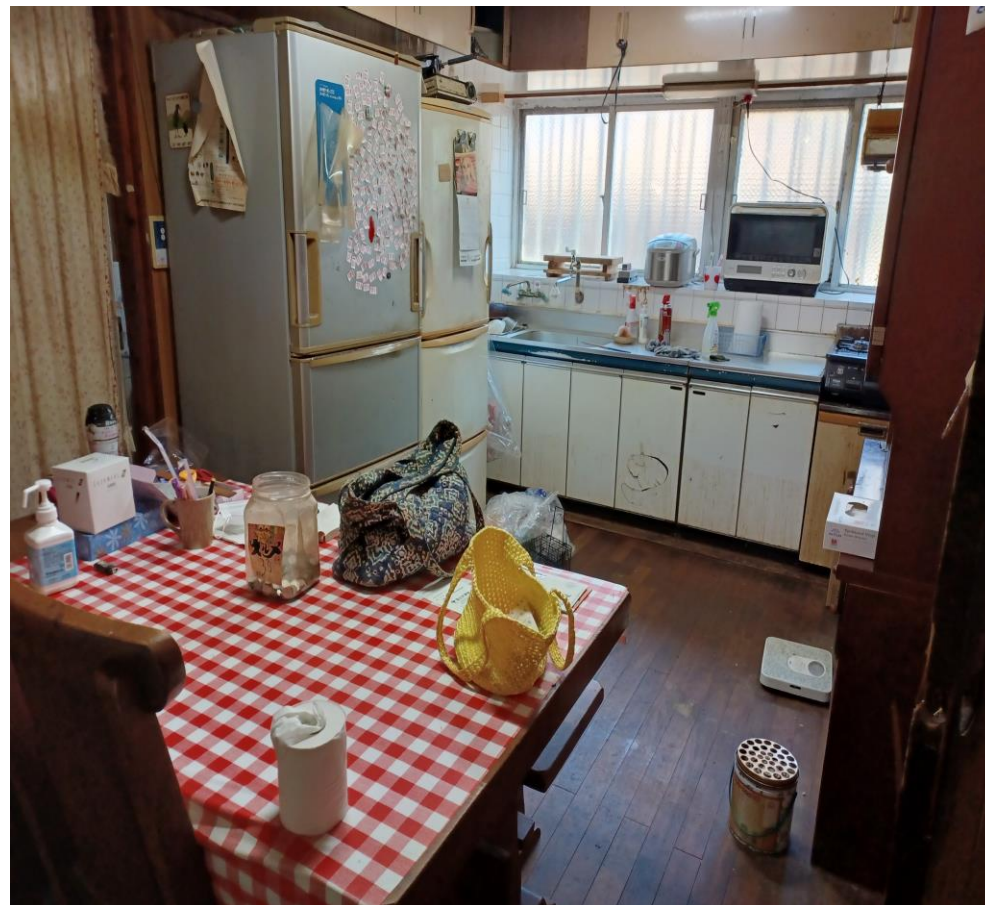


# 44歳女性の一人暮らし

Before



After



# 寢室の汚染

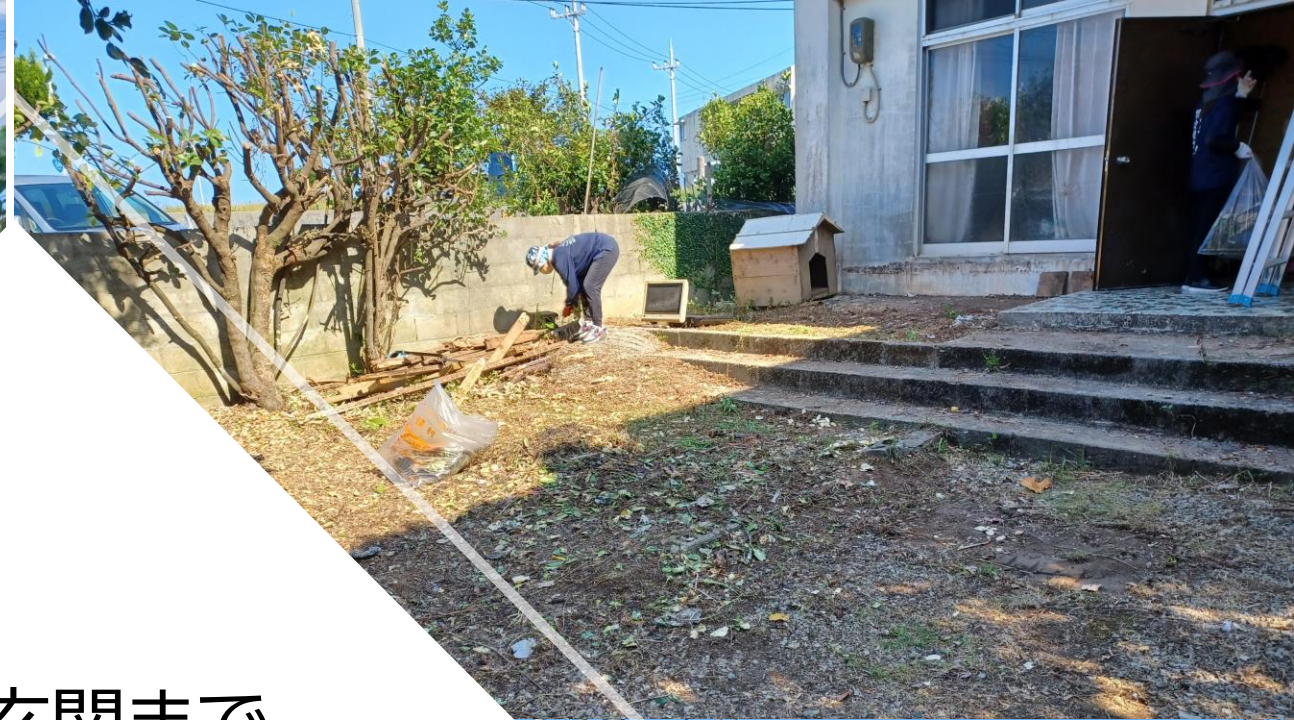
Before



After







門から玄関まで





# 90歳の一人暮らし

Before



After



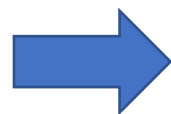


# 業者による福木の撤去

Before



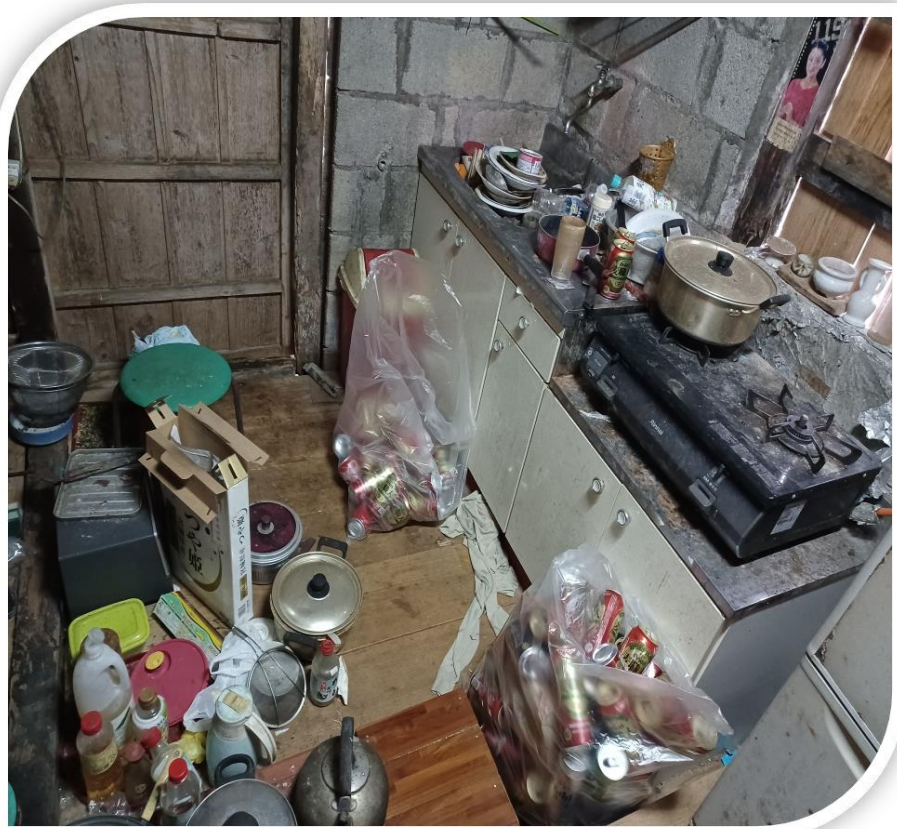
After



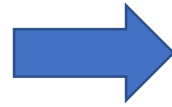
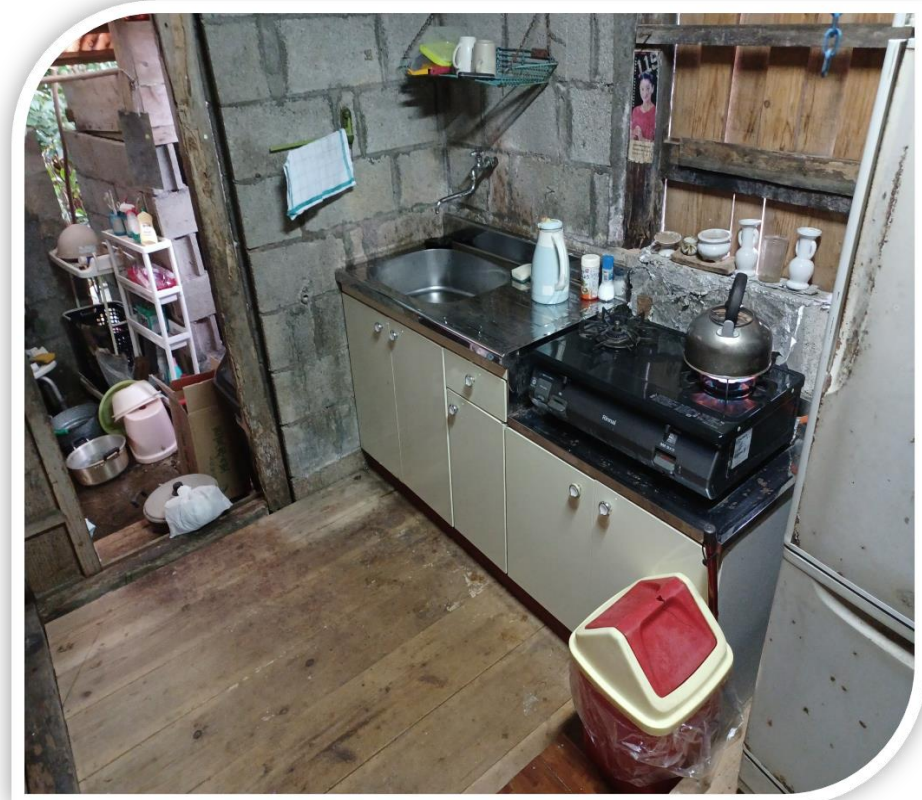


# 廃虚化された台所 (88歳長男と2人暮らし)

Before



After





これが生活スペースです

Before



After



# 7.作業後の感想

## • 依頼者の声

- 物が増えて歩く事ができず転ぶことが多くなっていた。生活に困り、どうしてよいか悩んでいたが、道具が片付いて家が広く感じた
- 腰痛で起き上がりがきつかった。ベッドを作ってもらったおかげで腰痛も軽減し、ぐっすり眠れて毎日楽しい。
- 室内にネズミがいて、訪問介護を入れたくても汚染があり、訪問介護を断られていた。片付けにより、ネズミもいなくなり、訪問介護が利用できて快適な生活ができている。
- 寝室がクーラーの排水で濡れて、ベッドのマットレスから寝室全体悪臭とたばこの吸い殻やペットボトルが散乱していて、濡れたベッドに寝ていたが、気持ちよく眠れている。
- 炊飯器や使用済みの鍋など、腐敗が激しく放置されていたり、ビール缶や酒瓶が室内に散乱していた。室内を整理出来て歩きやすい。
- 雨漏りがあり、屋根が落ちて漏電の危険があった。道具が室内を占拠して、室内の移動が困難であった。片付けることで生活が楽しくなり、できるだけ長くこの家で暮らしたい。

# 8.作業後の効果

- 片付け作業に本人も参加することにより、気付かなかって物を整理して、室内が整い、本人の生活意欲が出て、家事も積極的に行うようになった。
- 草刈り作業後、本人は草取りを日課として作業後の庭を維持している。
- 腰痛で入院していた方が、ベットを整備したことで、腰痛もなく快適な生活をしている。
- 作業と一緒に必要、不要を選別する作業を行い、自分の生活を見直すことができ本人自ら生活スタイルをイメージして家具や電化製品を配置した。
- 作業初めになんでこんなことするのと不機嫌な態度でしたが作業終わるころには寒いからあなた達も温まりなさいとヒーターを私達に向けて暖を取らせた。笑顔でありがとうと感謝があった。



# 9. 地域の企業の協力はすごい

- 90歳の男性が一人暮らしで敷地が広く、草刈り作業と福木の大木がブロック塀をひび割れして倒壊の恐れがあり、業者を入れたので安全にできた。
- 不要になった農機具を地域の業者が無料で撤去してもらいリサイクル料金も不要にしてくれた。
- リサイクル料金が掛からず負担にならない。
- 空き缶や空き瓶の回収を業者が行ってくれた。



空き缶



酒瓶



# 10.一番の楽しみ

## 19番ホール

- 一番のこの活動の目的はこのホールに到着です。
- 必ず当日行った作業の反省会を行いさらにステップアップで次につなげるようにする。
- 福祉課長、社協会長、局長も一緒に交流会を行い、お互いの情報交換の場になっている。





# 11.現在

作業から5か月が経ちました。



毎日コツコツと  
草取りを行って  
います。





# 12.楽しい視察研修

バスの中は  
おとなしい



皆さんのはじける  
笑顔ここはど  
こでしょう？





# ボランティアのこぼれ話

- 私たちのこのようなボランティア活動は社会福祉協議会の活動に対して理解があり支援していただいております。安心した行動ができ住民とお互いの信頼を得ることができていると思います。そのため自分たちは身体が動く限りこれからの活動を頑張っていきたい。また、終わった後依頼者からとても喜んでいたと聞いてやりがいを感じております。
- 19番ホールはいつでもできる拠点を仲間で作り、ゆいまーるの精神で楽しい。また料理担当の千佳子さんが仲間の胃袋をがっちり掴んでます。ボランティアを一層楽しく継続できている大きな要因である。

# 13. 今後の課題

- 区長・民生委員など各自治体と連携することで今後の作業が行政主体ではなく地域へと繋ぐことができたことでさらに見守りができる体制を整えること。
- 高齢者の今の生活環境を整えることで生きがいのある生活ができ、いつまでも住み慣れた地域で支えあいができるようにボランティアを支援できる体制を整えていく。
- 人口の高齢化により各地域で抱えている問題を共有し現状を見える化することで、私は何ができるか無理のない、小さな支えあいを具体的に組み組んでいく。
- このような活動を第3合議体として自主的な活動に繋げていく。
- 地域住民だけで解決できない課題になると生活支援コーディネーターに繋ぐルートが確保できるようにする。



# 終わりに

- 地のでま立た、動地疎土域い自ま活、過同地で、りき、る者各しすよです齡、を増まに開少高き会がい流展減にでく欲思交が々うがた意との動年よいん活た々活りる合ゆ生れ人うあけきりでらる添がい付作と得わり少ておをこが関寄す。減きのつる果ににま口生るやえ成ア域れ人く一お整いイ地わのしまがをよテり思名らい土境はン図と9分ゆ同環とラをる1自。者活こボ上いで、る齡生た、向て6、る齡生た、向てで、い高にれはのれ間域てにうらて質さ年地きのよみの直0たて生のがおア見1れっ発会容にィがが慣な然和変会テ方口みに自○の議ンリ人住切でにへ協ラあ総。大様ら活祉ボのはすがいさ生福と献村で助互。た会欲貢本域共おすし社意域
- 地連がるよの企ス少に業ムななや一いつた。資ス高た。源に齡をな者活り、地用す地域こづ気とくづきでりきち円立よ滑化う、なな民ついで生たよ委。う員さに見さん守が地る趣域こ旨とにのが沿つでいなき
- 自分達の老後も安心できる地域づくりを目指していきたい。

# はま

(ボランティアメンバー 6名)

# ゆんたく会



さらに地域が活気づいていこう！  
活動の幅を広げて行きたい！

浜区も何かできないか！  
と民生委員から相談があった。  
区長、会計と話しあい、ボランティア  
メンバーを集め、社協のコミュ  
ニティ助成金を活用して今年度  
から「ゆんたく会」を開いている。

地域の居場所ができて嬉しいと  
参加者からの声があり、老人会が  
ない寂しさもあるが、ボランティ  
アの皆さんが頑張っていることで  
地域が元気になってきている。

午後のミニデイに合わせて  
「ゆんたく会」行っているが、  
午前中開催になった時は、内容  
を考え昼食となるメニューして  
プチ食堂となっています！



「来ない人は損だね～」  
と毎回参加者からの声！



それぞれの家庭での調理法  
がある！愚痴を言わず  
こんな方法もあるのかと  
料理教室になって楽しむ！





# 半 地

# ゆんたく会



ミニデイもなかった半地区  
R3年度からミニデイをスタートし、  
社協からの助成金を活用して、  
ミニデイ後にゆんたく会を行って  
います。

現在は区長さんが毎月ひとりで  
おやつの準備をして地域の方を  
喜ばせ、居場所づくりに取り組ん  
でいます。

あ～最高！最高！  
区長さんの手料理は  
本当に美味しいね～

毎月公民館へ集まって  
顔合わせ・ゆんたく・笑い  
これが  
”がんじゅうパワー”  
となっているよ！



公民館に集まるのが楽しみ楽しみ～！



# へんとな

(ボランティアメンバー 9名)

# ゆんたく会



令和2年度から始めている  
「へんとなゆんたく会」

できることから！をモットーに持  
続し楽しく活動ができています。  
活動が周知されるようになり、  
今ではボランティアのメンバーも  
増え、ミニデイ開催日に合わせて  
ゆんたく会を行うことでミニデイ  
の参加者も増え一石二鳥！  
気軽に集まってゆんたくでき場  
って大事ですね！



毎月公民館へ集まって  
顔合わせ・ゆんたく・笑い  
これが  
”がんじゅうパワー”  
となっているよ！

あっちも声かけてみよう！  
と住民が住民を呼び  
支えています！

☆ステキな地域カフェができてます！  
食堂もやってみたいねツと意欲的になってきてますよ～







# 伊地

楽しい場をつくることで人が集まって来ています！



毎回、区長さんも一緒に最後まで参加しています

民生委員の又吉さんから伊地も「ゆんたく会」取り入れていきたい！とお話があり、ミニデイ後に行っている。現在はレディース組の差し入れでゆんたくし、楽しい時間会つくっています。長く続けていくことができるよう次年度はゆんたく会の予算をとって憩いの場をつくりたい。

新公民館ができればもっと地域のやりたい事！活動しやすくなると思うので楽しみですね！





# ベ の き

## おやつ・100円弁当 ボランティア



ミニデイサービスにもっと多くの人が参加してくれるように…「おやつ用意したら効果あるかな？」と参加者で話し合い、そこからやってみよう！と70代80代

のメンバーで昔ながらのおやつ作りを始めている。

今では本人たちの生きがいとなり、毎月の楽しみとなっている。またミニデイの参加者も増えて、男性の参加者が一番多い地域です。



若い婦人部で2か月に1回の日曜日に開催している100円弁当！まだ現役で平日は仕事しているメンバーですが、お休みの日に地域を明るく元気にするために頑張っています！

独居の男性が多い世帯なので手作りの料理が食べられると喜ばれ、食育・栄養管理(見守り)につながっています。



回想法にもなり集まるのが楽しいです！

「足は悪いけど、口は元気だからゆんたくしている時間が楽しい～」と地域の声！



# 桃原区

(ボランティアメンバー 15名)

## か ね ま ん 食 堂



月1回ミニデイの日に合わせてかねまん食堂を開催しています！野菜の提供が豊富な地域で、どんな物も美味しい料理にして喜ばせてます！エプロンもお揃いです。また、毎年12月は子供から高齢者が参加しクリスマスバイキングを行っていてとても好評です！地域のボランティアのみなさんが集まり感謝祭も行っています！



定期的にボランティアミーティングを持ち気になる世帯など情報交換行っている！また週1回パークゴルフして仲を深めている。

食後のコーヒータイムがまた楽しみのひとつです！

栄養バランスの摂れた食事で地域の方を笑顔にしています！

ボランティアメンバーで一人暮らしの方の見守り・見回りもおこなってます！



# 奥間区

(ボランティア登録数 8名)

## あさひ食堂



令和2年度に立ち上げ今年で4年目になる「あさひ食堂」です。あさひ食堂は2か月に1回開催しています。

ボランティアの人数は多くはないけど、楽しく・無理なく・安全に活動しています。

ボランティアミーティングを行い、地域からの声など情報交換行っている。

栄養バランスの摂れた食事で地域の方を笑顔にしています！



男性の方々も食堂が楽しみで参加者も増えている！

だれでも気軽に参加できる場所ができて地域の居場所となっていて喜ばれている。地域の方が顔合わせ、楽しく会食ができゆんたくに花が咲く…これが元気の源です！





# 佐手区

(ボランティア登録数 8名)

## あかいし食堂



地域外からも多くの方が参加してまーす！

月1回ミニデイの日に合わせてあかいし食堂を開催しています！年々、食堂を楽しみにしていた高齢者が施設入所などで参加者が少なくなって寂しいですが、ミニデイにボランティアのメンバーも一緒に入り、元気づけています。

毎年12月にはクリスマス会を行い、ビンゴゲーム・カラオケ・踊りを楽しみアットホーム感のある佐手区です！

毎月ボーリングへ行ったり旅行へ行ったりと楽しみをつくり、ファミリーのように仲がいいメンバーです！



花いっぱい・笑顔いっぱい  
人口は少ないけど  
支えあって  
がんじゅうしてます！



高齢者の見守り・見回りができている！



# 辺戸区

(ボランティア数 7名)

## あすむい食堂



今年度に地域食堂を立ち上げた  
辺戸区の「あすむい食堂」

村内で一番高齢化率の高い地域  
であり、地域から「集まる場がなく  
て寂しい」との声があり、辺戸も  
やってみよう！となり、あかいし  
食堂に見学へ行き学んできた。

元気パワーのある石原真由美さん  
を中心に辺戸区も頑張っています！

ボリューム満点の食事で元気100倍にしています！

自分たちにもできること！  
積極的に片付けを  
手伝ってまーす！



あったかい手料理が  
食べれると一人暮らし  
の男性方に喜ばれている



食堂後はみんな  
でミニデイに参加し、ゆんたく会  
まで楽しんでまーす！





ご清聴ありがとうございました。